

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	アフリカ開発会議(TICAD)準備会合開催経費	担当部署	中東アフリカ局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度限り	担当課室	アフリカ第二課	課長 麻妻信一				
会計区分	一般会計	施策名	I-6 アフリカ地域外交					
根拠法令(具体的な条項も記載)	外務省組織令第58条及び第62条	関係する計画、通知等	-					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成24年度については、平成25年度に開催が想定される第五回アフリカ開発会議(TICAD V)の前年度にあたるため、アフリカ諸国やTICAD共催者等の関係機関による事務レベルによる準備会合を開催し、アフリカ開発の現状に関わる個々の論点及びTICAD Vの優先課題等に関する見解を聴取する。さらに、TICAD Vの直前に開催する閣僚級準備会議において、参加者間で公表文書等の最終調整を行い、本番の首脳会合に臨む必要がある。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	平成24年秋を目処に、事務レベルの準備会合をアフリカ内で開催する。また、平成25年2月～3月頃には、TICAD V閣僚級準備会議をアフリカ内で開催し、アフリカ諸国やTICAD共催者等との間で公表文書等の最終的な調整を行い、平成25年度に予定されるTICAD Vの成功裡の開催につなげる。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	25	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	25	-	
	執行額	-	-	-	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)	
	目標:アフリカ諸国及びTICAD共催者等との間で成果文書等の最終調整を行い、TICAD Vの成功裡の開催につなげる。 実績:アフリカ参加国数		成果実績	か国	-	-	-	54
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	平成24年度にTICAD V 地域準備会合及びTICAD V 閣僚級準備会合を各1回実施する。		活動実績(当初見込み)	回	-	-	-	-
					-	-	(-)	(2)
単位当たりコスト	12.5 (百万円/1会合)		算出根拠	24年度予算額(25百万円)÷開催会合数(2回)(見込額)				
平成24・25年度予算内訳(単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	資料翻訳	0	0	24年度限りの事業				
	旅費	8	0					
	国外会議費	18	0					
計	25	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	アフリカ開発全般を扱うTICAD Vに先立ちアフリカ諸国や国際機関による事務レベル及び閣僚級による準備会合を実施するものであることから、アフリカ地域に在外公館を有し、国際機関等との緊密なネットワークを有する外務省が実施することが適当。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>本件事業は、第四回アフリカ開発会議(TICAD IV)で「横浜行動計画」として採択された対アフリカ開発支援策の履行状況をモニターするフォローアップ会合後に引き続き、第五回アフリカ開発会議(TICAD V)の開催に先立って開催するものであり、アフリカ諸国、共催者等主要機関による事務レベル及び閣僚級による準備会合を実施するものであることから、アフリカ地域に在外公館を有し、共催者を含む国際機関等との緊密なネットワークを有する外務省が実施することが適当である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
			－
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			－
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	新24-23

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	イラン問題対策費	担当部局庁	中東アフリカ局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・未定	担当課室	中東第二課	課長 中込 正志				
会計区分	一般会計	施策名	中東地域外交に必要な経費					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第二・三項	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	EU3+3等の国際社会の対イラン政策策定への積極的な関与を通じて、イラン情勢を巡る国際社会の取組を我が国に有利なような進める。同時に、エネルギー安全保障等の確保を念頭に、イランとの間の関係を強化する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)国際社会の対イラン政策策定への関与 ・EU3+3との意見交換・協議の実施 ・対イラン制裁に関する有志国会議への参加 (2)イランとの関係強化 ・日・イラン若手外交官交流 ・受刑者移送条約の締結の可能性を検討するための予備協議							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	3	4	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	3	4	
	執行額	-	-	-	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)	
	本件はイランとの関係強化等が目標。 【実績】要人の往来数		成果実績	人	-	-	-	6
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	24年度活動見込	
	国際会議への出張回数		活動実績(当初見込み)	回	-	-	-	-
					(-)	(-)	(3)	
単位当たりコスト	1 (百万円/1回)		算出根拠	平成24年度予算額/出張回数(見込み)				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	その他	3	4	出張回数の増加				
	計	3	4					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本件は我が国のエネルギー資源にとって重要な位置づけとなっているイランとの関係を強化するものであり国民の関心も高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	コストの削減に努めながらイランとの間の関係を強化するために必要な国際会議等を行っていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
			－
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			－
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	新24-23

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	中東諸国における経済外交推進		担当部局庁	中東アフリカ局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度開始 ・未定		担当課室	中東第一課		課長 長岡 寛介		
会計区分	一般会計		施策名	中東地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項口, 第2項, 第4項 外務省組織令第59条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中東・北アフリカの安定は、我が国へのエネルギーの安定供給確保という観点から死活的に重要であり、我が国としても①公正な政治・行政、②人づくり、③雇用促進・産業育成の三本柱を中心として、域内各国の安定的な体制以降及び諸改革の自助努力を後押ししていくとともに、これらの支援に資する④経済外交の強化、⑤相互理解の促進に取り組む考えである。日・トルコEPAや日・アルジェリア投資協定等守株の経済条約の締結に向けた取組は、我が国と同地域の経済関係を強化するのみならず同地域の安定を目指すもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日・トルコ経済連携協定及び日・アルジェリア投資協定等様々な経済条約の締結に向けた協議出席旅費(含む有識者)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	-	-	-	3	7	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	3	7		
	執行額	-	-	-	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)	
	日・アルジェリア投資協定交渉の妥結及び日・トルコ経済連携協定締結に向けたトルコ側との協議・意見交換		成果実績	百万円	-	-	-	307,768
	トルコ及びアルジェリアに対する我が国の輸出額		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	各国との交渉及び会合出席のための出張回数		活動実績(当初見込み)	回	-	(-)	(-)	(3)
単位当たりコスト	865 (千円/1回)		算出根拠	平成24年度予算額/交渉回数及び会合数(見込額)				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	その他(旅費)	3	7	事業の見直しによる増				
	計	3	7					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本件は国と国との経済条約の締結に向けた協議等を行うものであり、外務省が行うべき事業である。また、同地域は経済的に企業関係者の関心が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本件予算は経済条約の締結に向けた協議等を行うための経費として、旅費のみを計上している。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件は日・トルコEPAや日・アルジェリア投資協定等種々の経済条約の締結により、我が国と同地域の経済関係を強化するのみならず、同地域の安定を目標とするものであり、今後も必要に応じ様々な経済条約の締結に向けた協議等行っていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
			－
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			－
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	新24-24